

1年生を対象に 租税教室を行いました

ビジネス基礎（2単位）の授業で 外部講師の先生（税理士・弁護士 須藤雅人 先生）を招聘して租税教室を行いました

なお この模様は **山形新聞**でも紹介されました



講話を契機に 税や民主主義について 探究を深めてほしい

高校生が税を学ぶ



上山 上山明新館高（阿部孝校長）で8日、租税教室が開かれ、情報経営科の1年生40人が税の役割や仕組みを学んだ。同校が山形税務署などと連携

して毎年実施しており、須藤会計事務所（山形市）の弁護士・税理士須藤雅人さんが講師を務めた。税理士の業務内容について「男女問わず活躍しやすい仕事」などと紹介し、クイズ形式で税の歴史や種類、日本の税収などを解説。生徒たちは1億円のレプリカを持ち、お金の重さを実感した。須藤さんは「税金をどう使うか、今後の社会の在り方は若い人たちの意見がどれだけ反映されるかで変わる。選挙に行くことが大切で、税金について関心と理解を深めてほしい」と呼び掛けた。川口咲さん（15）は「クイズを通して税金のことが詳しく分かった。これをきっかけにもっと関心を持ちたい」と話していた。